

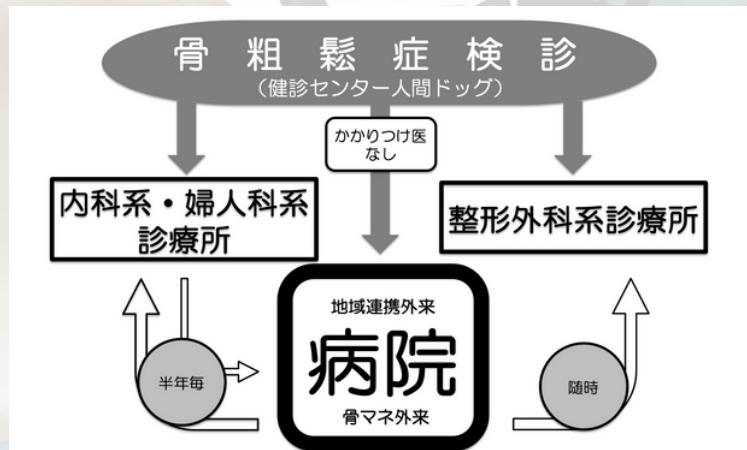
骨粗鬆しょう症新報

第3号

2024年11月15日（金曜日）

骨粗鬆症リエゾンサービスセンターの活動

「さくらモデル」って何？（骨粗鬆症地域連携外来）



骨折一次予防

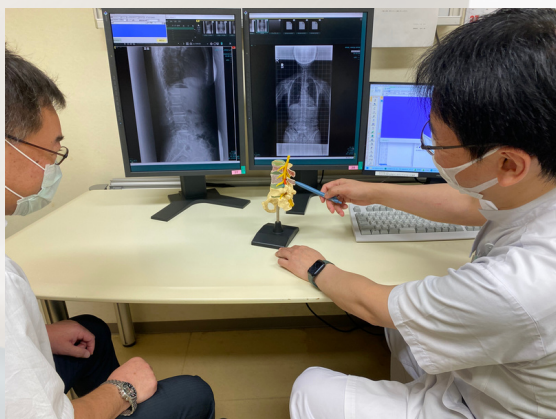
当院では、骨折の一次予防（初発骨折の予防）を目的とした『さくらモデル』を展開しています。このシステムでは、健診センターからの精密検査対象者を受け入れ、体系的な管理を行っています。

具体的な流れとして、健診センターの人間ドックにおける骨密度検査で要精密検査となった方のうち、かかりつけ医不在で紹介先のない患者さんを当院の骨粗鬆症地域連携外来で受け入れています。同時に骨粗鬆症マネージャー外来での評価も実施します。

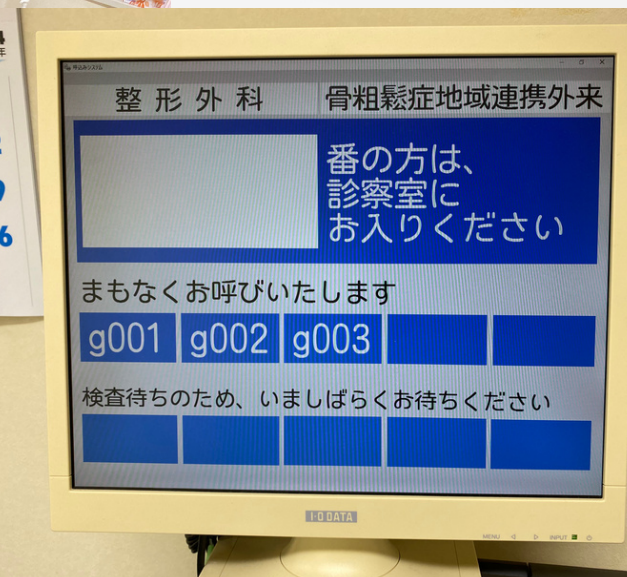
診断・評価には多職種が関わり、放射線科での骨密度測定（躯幹型）、検査科での採血による骨代謝評価、骨粗鬆症マネージャーによる服薬指導・栄養指導、リハビリテーション室でのロコモ度テストと運動指導を実施します。

骨粗鬆症と診断された場合は、地域の内科あるいは整形外科診療所に紹介させていただきます。内科診療所に紹介した患者さんは、当院で半年に1回フォローアップを行い、治療の継続性を確保しています。

このように『さくらモデル』は、院内の多職種連携と地域医療機関との協力体制により、骨折予防のための包括的な管理を実現しています。



プラリア外来ってどんな外来？（骨粗鬆症地域連携外来）



骨折二次予防

大腿骨近位部骨折で入院された患者さんの再骨折予防を目的とした外来です。一度骨折された患者さんの再入院が頻回にあることから、入院期間中から退院後まで継続的な予防管理を行っています。

入院中から多職種で介入し、退院後も外来で継続的にフォローアップを行うことで、再骨折の予防に努めています。

骨粗鬆症マネージャー外来って？



骨折一次予防にも骨折二次予防にも骨粗鬆症マネージャー外来！

骨粗鬆症マネージャー外来は、一次予防・二次予防いずれの患者さんにも対応しています。患者さんは来院1週間前までに骨密度検査、レントゲン、採血（骨代謝マーカを含む）を済ませ、すべての検査結果が揃った状態で骨粗鬆症地域連携外来を受診します。

その後、骨粗鬆症マネージャーの資格を持つ看護師1名とメディカルスタッフ1名（右上の写真は臨床検査技師）による骨粗鬆症マネージャー外来で、より詳しい指導を受けていただきます。